

漱石のさんぽ道 マップ



所在地 新宿区早稲田南町7

アクセス 電車 東京メトロ東西線 早稲田駅下車 徒歩10分
都営大江戸線 牛込柳町駅下車 徒歩15分

バス 都営バス(白61)新宿駅西口発練馬車庫行
牛込保健センター前下車 徒歩2分

※お車でのご来場はできません。

開園時間 4～9月 午前8時～午後7時
10～3月 午前8時～午後5時



お問い合わせ 新宿区みどり土木部みどり公園課
電話 03-5273-3914 発行 平成26年1月

新宿区立 漱石公園

～夏目漱石終焉の地 漱石山房～



夏目漱石は、明治40(1907)年9月から大正5(1916)年12月に没するまでの9年間、新宿区早稲田南町にあった「漱石山房」と呼ばれる家で過ごしました。この家で「三四郎」「それから」「こゝろ」「道草」などの作品を生み出しました。

山房は、敷地340坪に60坪の和洋折衷の平屋建て、庭には大きな芭蕉の木がありました。一番東にあった八畳間を書斎として、隣の客間は門下生たちとの「木曜会」に使用しました。建物は昭和20(1945)年の戦災で焼失しました。

山房の敷地の一部は、昭和51(1976)年に新宿区立漱石公園として開園しました。平成17(2005)年、公園の改修をおこなうため、区民や有識者の方々の協力を得ながら、公園の案を作成し、平成20(2008)年にリニューアルオープンしました。

猫塚



漱石没後、漱石が飼っていた猫・犬・小鳥のために遺族により供養塔(猫塚)が建てられた。戦災で焼失したが、漱石37回目の命日(昭和28年)に復元された。

道草庵



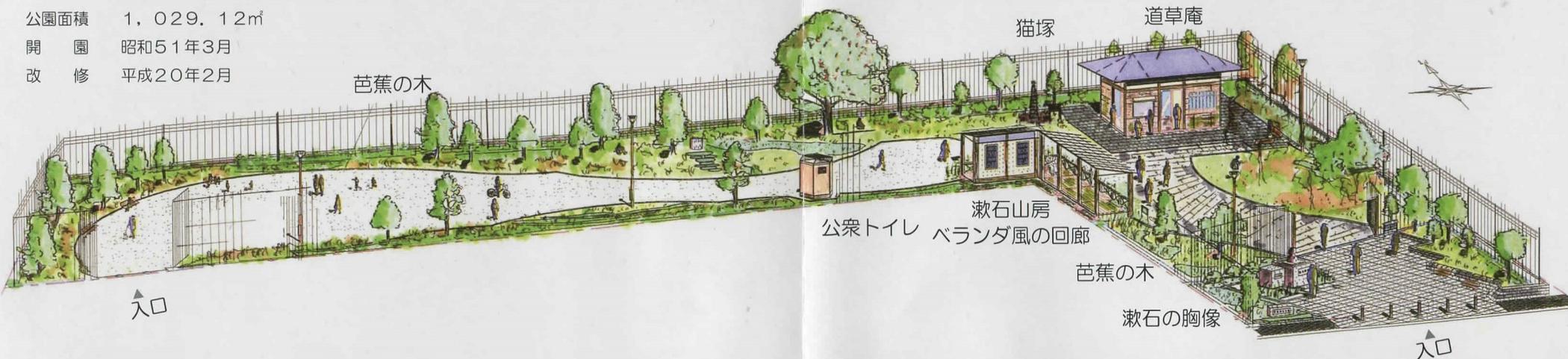
漱石や山房に関する資料を展示している。道草庵に至るみちには、山房時代からあった擁壁の石材(房州石)を使用している。

漱石の胸像

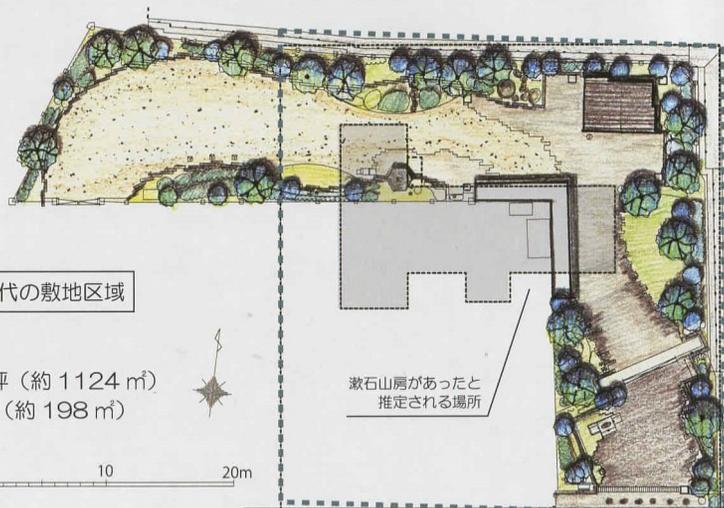


富永直樹 作
平成3年建立
碑面には、漱石が晩年に理想とした境地である「則天去私」の碑文がある。

公園面積 1,029.12㎡
開園 昭和51年3月
改修 平成20年2月



漱石山房の推定位置図



--- 漱石山房時代の敷地区域

漱石山房
敷地面積 340坪(約1124㎡)
建築面積 60坪(約198㎡)

漱石山房があったと推定される場所

漱石山房 ベランダ風の回廊



客間と書斎の三方を囲むベランダ風の回廊の一部が復元されている。このベランダで、漱石はくつろぎ庭を眺めていた。



[神奈川近代文学館所蔵]

硝子戸の中へ
見渡すと、霜除をした芭蕉たの、赤い実の結った梅もどきの枝たの、無遠慮に直立した電信柱たのがすぐ眼に着くが、其他に是と云つて数へ立てる程のものは殆んど視線に入つて来ない。書斎にゐる私の眼界は極めて単調でさうして又極めて狭いのである。

